

じます。また、「ふるさと納税」や「クラウドファンディング」により、収入アップを目指してまいります。

▼自治会と市政の連携強化

【絆】

市内には68区の自治会があり、地域福祉の向上に貢献するとともに、市民の意見の把握と集約をするという重要な役割があると考えております。

そこで、これまで曖昧であった区と行政との役割やそれぞれのあるべき姿を区長会のご協力をいただき、「区と行政の関係に関する検討委員会」を設置し、明確にしてまいります。

また、市民の皆様と共に考え、協働して実践することを基本姿勢とした、「第5次基本構想」を今年度から運用してまいります。なお、現在、設けられています「地区担当職員制度」については、まだまだ機能しているとは言えない状況にあります。担当者は各区に入り込んで、区の要望や課題を市政に反映させることができるよう、地区担当職員制度を充実させてまいりますと存じます。

▼市民が幸福を実感できる市政を実現

【笑顔】

全ての市民が幸福を実感できる市政を実現していくことが、今後の小諸市の大きな「チカラ」になります。

現在、市の人口の約29%を占める高齢者の割合が、9年後には約35%になる中で、「健康長寿日本一こもろ」を目指してまいります。具体的には、「介護予防日常生活支援サービス」を10月1日から実施するなど、引き続き様々な形で介護予防のための施策を実施してまいりますと存じます。

また、野岸小学校管理棟耐震工事未実施問題や坂の上小学校の雨漏りによる補修問題などで、児童や保護者の皆様に多大な迷惑と不安を与えております。これらについては、学習環境の整備を最優先の課題として取り組んでまいり所存であります。

なお、市内の小学校は、一部を除き築40年以上を経過しており、計画的な改築が必要な状況となっております。今後の計画策定にあたりましては、学校に求められる役割・特色・利用方法、保護者や地域の皆様の想い、また市の財政状況や児童の将来予測など、

様々な情報を共有しながら、拙速に結論を出すことのないよう、丁寧に議論を始めてまいりたいと存じます。

そのほか、特別支援教育の充実、低年齢からの読書を通じた基礎学習の充実など、人づくりに重点を置いた政策を実現してまいり所存であります。

また、日常の移動手段として運行していた小諸すみれ号を見直し、新たに運行をはじめた乗り合いタクシー「こもろ愛のりくん」について、利用者をはじめ市民の皆様の声を集約・分析し、利便性の向上と利用促進に努めてまいります。

▼産業振興と起業・就農支援

【攻め】

雇用を創出し、豊かな生活をおくるためには、産業振興が重要であり、子育てや教育環境の充実、まちづくりの促進、税収の確保などにも直結し、市の人口減少対策にもつながります。

人材確保の面では、若者や女性の起業家を応援するため、専門家によるカウンセリングやコンサルティングの場を設けるほか、市外に対し情報拡散を行い、若者や女性にとつ

て「気になる都市」としての位置づけを獲得します。さらに、中小企業支援として、市内の大多数を占める中小企業の振興を図ることを第一に係団体と連携し、成長分野へのシフト支援やマッチングによる新規事業の推進などの支援策の充実を図ってまいり所存であります。

また、農業の面では、遊休農地を借受け、集約し、意欲ある農業者に貸出して有効活用を図ると共に、市内外から新たに就農しようとする方への支援を充実させてまいりますと存じます。

また、6次産業の推進を図ることは勿論ですが、農業に限らず、小諸市が有している様々な魅力をさらに高め、「小諸ふるさとブランド」を立ち上げてまいりたいと存じます。

▼観光・ブランド活性化に向けた情報戦略

【ワクワク】

小諸の観光資源を活かすと共に、浅間山麓を「面」として捉え、広域連携により、近隣市町村へ訪れる観光客の取り込みを図るほか、産業振興等により創出した小諸の魅力等を、戦略的に国内外に情報発

信すること、流動人口のみならず定住人口の増加を図り、経済効果をもたらすことを目指します。

そのために、今後立ち上げるよう準備を進めております「小諸市観光局（仮称）」に宿泊・観光事業者のみならず農工商の事業者・市民団体など意欲のある多くの市民などが参画し、訪れるお客様が小諸の魅力を体感できるような取り組みを行ってまいり所存です。

なお、これまでも市役所から様々な形で情報発信がなされておりますが、今後は専門家の力も借りてより戦略的に情報発信や情報収集を行っていくよう、新たに設置した「情報戦略推進係」の機能の充実を図ってまいります。

ただいま申し上げましたものの政策も、議員各位をはじめ市民の皆様のご理解とご協力なくして実現できるものではありません。私は、これからの4年間で、「小諸に元氣と誇りをとりもどす」ことを目指し、全身全霊を尽くす所存でございます。

皆様方には、今後とも、格別のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。